

(2) 平成30年度予算・事業計画について

1 平成30年度予算について

(単位：千円)

区分	事業細目	30年度(当初)	29年度(当初)	内 容
活動推進事業	図書館資料充実に要する経費	35,271	35,341	資料整備費 (33,072) その他 (2,199)
	読書ボランティア支援に要する経費	61	69	子どもの本と読書の講座等
管理運営費	人件費	136,986	142,803	職員給与費 (119,156) 嘱託報酬等 (17,830)
	図書館の管理運営に要する経費	46,680	48,496	庁舎管理 (28,565) 光熱水費 (12,966) 通信費(協力貸出他) (2,517) その他管理運営費 (2,632)
	カウンター業務等委託事業	50,779	51,321	カウンター業務等委託 (50,676) 巡回文庫配本 (103)
	図書館情報システムに要する経費	18,399	15,558	図書館情報システム賃借料等
	マイクロリーダプリンタに要する経費	952	952	マイクロリーダプリンタ賃借料
郷土資料システム使用料	0	238	郷土資料ホームページ保守・運用	
合 計		289,128	294,778	

2 平成30年度事業計画について

① 行事

区分	日時	内容	場所	予定人員(人)
こども読書まつり	4月21日(土)	おはなし会 かみしばい会 伝承手づくりおもちゃ教室 影絵劇 落語 ほか	親子読書コーナー 研修室 視聴覚ホール	各回 30~110
	4月28日(土)			
	5月12日(土)			
図書館コンサート	7月8日(日)	金管アンサンブル「ゆかいななかまたち」によるコンサート(子ども対象)	視聴覚ホール	180
	2月頃	金管アンサンブル「香川プラスチェンバー」によるコンサート		150
おやこde図書館探検	11月3日(土・祝)	親子での図書館内部の見学、資料探しやカウンター体験など (小学生とその保護者対象)	閉架書庫室 閲覧室	10組
大人のための図書館探検ツアー	10月~11月頃	普段は見るできない閉架書庫の見学など	閉架書庫	20
子どもの本と読書の講座	未定	子どもに本や読書の楽しさを伝える図書館職員、ボランティアなどを対象に、スキルアップのための講座を開催	未定	未定
食育イベント	6月16日(土)	「食育のおはなし&読み聞かせ」 「かがわ食育月間」の企画展示に併せて、子ども向けの食育(食の大切さ)のお話と読み聞かせを行う食育イベントを開催	研修室	40
中・高校生等への読書支援	8月7日(火) 8月9日(木)	読み聞かせ講座を受講後、高校生によるおはなし会を開催	研修室 親子読書コーナー	20
健やか生活応援講座	10月・2月頃	「病気と治療」をテーマに講座を開催 (2回開催予定)	視聴覚ホール	各回40
他機関との連携による行事	8月1日(水)	香川県夏休み親子環境学習講座 (県環境政策課と共催)	視聴覚ホール	70組
展示	4月17日(火) ~5月13日(日)	児童資料企画展示 「芸術を子どもたちへ ~『赤い鳥』創刊100年~」	閲覧室 展示コーナー	—
	5月15日(火) ~6月3日(日)	企画展示 伊能忠敬と日本地図 (国土地理院四国地方測量部と連携)		

区分	日時	内容	場所	予定人員 (人)
展 示	6月9日(土) ～7月1日(日)	香川県教育委員会事務局 保健体育課 「食育パネル展」	観 覧 室 展示コーナー	—
	7月3日(火) ～7月22日(日)	香川県環境森林部 環境管理課 里海づくりに関する展示		
	7月24日(火) ～8月26日(日)	香川県環境森林部 環境政策課 「環境に関する展示」		
	8月28日(火) ～9月30日(日)	香川県健康福祉部 生活衛生課 「動物愛護展」		
	10月2日(火) ～10月21日(日)	香川大学図書館 「EU企画展」		
	10月23日(火) ～11月25日(日)	企画展示 読書週間及び「古典の日」記念展示「明 治150年、置県130年」		
	12月4日(火) ～1月20日(日)	未定		
	1月22日(火) ～2月17日(日)	香川県教育委員会事務局 生涯学習・文 化財課「23が60読書レビュー展」		
	2月中旬 ～3月中旬	かがわ総合リハビリテーションセンタ ー「高次脳機能障害に関する展示」		
	3月中旬 ～4月中旬	企画展示 「平成をふりかえる」		
イベント関 連本展示	(年間)	イサムノグチ 2018 FIFA ワールドカップ ロシア大会 キャンプの本 忠臣蔵 平成31年に関する本 など	観 覧 室 新着図書コーナー	—
ボランティ アによる 活動	毎月1回 (第2土曜日)	おおばこおはなしかい おおばこによる絵本の読み聞かせ、 紙芝居、手遊びなど	親 子 読 書 コーナー	各回 30～40
	年6回 (奇数月第3土曜日)	「おはなし紡ぎの会」によるおはなし 会 おはなし紡ぎの会によるストーリー テリング、絵本の読み聞かせなど		

区 分	日 時	内 容	場 所	予定人員 (人)
ボランティアによる活動	毎月1回 (第1または第2火曜日)	こうさぎおはなし会 おはなし紡ぎの会による乳児から5歳くらいまでの子どもと保護者を対象としたわらべうた、絵本の読み聞かせなど	親子読書コーナー	各回 30~40
	毎月1回 (第4土曜日)	わくわくかみしばい会 まいまい塾ネットワークによる紙芝居の上演		
	毎月1回 (第2水曜日)	いちご いちごによる絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなど		
研修会 (香川県図書館協会主催)	6月27日(水) ~29日(金)	香川県図書館職員研修会(初任者研修)	研修室	20
	1~2月頃	香川県図書館職員研修会(専門研修)	未定	30
	11月30日(金)	香川県図書館大会	視聴覚ホール	100
実務担当者会 (香川県図書館協会主催)	第1回 5月23日(水) 第2回 1月予定	県内公共図書館の実務担当者による、図書館業務遂行上の問題点、疑問点等についての情報交換と、連携・協力に関する事項についての協議	研修室	各回20
研究会 (伊藤忠記念財団主催)	9月30日(日)	読書バリアフリー研究会	視聴覚ホール	50

② 児童資料団体貸出、学校支援文庫

項 目	内 容
団体貸出	子どもの読書環境の整備や充実、学習活動の支援などのため、児童資料を団体に貸出する。 5名以上で構成されるボランティア団体には30冊以内、利用する子どもが5名以上の文庫・学童保育など及び保育所・幼稚園・小学校・特別支援学校には100冊以内で1ヶ月以内の貸出しを行う。
学校支援文庫 「木守文庫」	小学校、中学校、特別支援学校に対し、学習活動や読書活動を支援するため、テーマごとに1セット20冊または40冊の図書を1か月間貸出する。 平成30年度は、昨年度に引き続き、中学校版を整備予定。

③ 市町等への支援

区 分	内 容
巡回文庫	公立図書館が設置されていない町（直島町、琴平町）の、公民館、学校等の公的機関及び30人以上で構成されている読書団体に対し、1町300冊以内を3か月間貸出する。
協力貸出	市町の図書館のほか、公立図書館が設置されていない町の公民館等に対し協力便を運行して、協力貸出（相互貸借）を行う。

④ 子育て支援

項 目	内 容
子育て支援 図書コーナー	子育てに関する様々なジャンルの図書、雑誌を妊娠、出産、育児、しつけ、家庭教育など時系列順に分かりやすく分類配架し、貸出を行う。
子育て支援 情報コーナー	子育て関係機関や団体等が作成した各種のパンフレット・イベントチラシなど（約25種類）をとりまとめて配布するほか、子育てについての最近の新聞記事を掲示したり、子育てサークル等の活動状況を写真などで紹介する。
企画展示	年4回の企画展示を行う。 3月6日（火）～6月3日（日） 「ようこそ赤ちゃん！～家族みんなで赤ちゃんをむかえる本～」展 6月9日（土）～9月2日（日） 「親子で食育～作ってみよう！体にやさしい、おいしいおやつ～」展 ※県教委保健体育課・当館 Young Generation コーナーとのコラボ企画 9月～11月 「一緒ならもっと楽しい！～かわいい動物の本～」展 12月～2月 「働きながら子育て応援 Books」展 3月～6月 「春！春！春！親子で楽しむ遊びの本」展
行 事	6月の「かがわ食育月間」の企画展示に併せて、6月16日（土）に子ども向けの食育（食の大切さ）のお話と読み聞かせを行う食育イベントを開催。

⑤ 中・高校生等への読書支援

項 目	内 容
Young Generation コーナー	中・高校生等の10代のニーズに応える図書、生活をサポートするための図書など、10代向けの図書を充実し、中・高校生等の読書推進を図る。
ミニ展示	Young Generation コーナー近くに、展示スペースを設け、季節や時事にあったミニ展示を行う予定。4月「人生を変える読書」、5月、6月「帯の持ち本（ぬし）を探せ！」7、8月「夏休みに役立つ本」など。
行 事	高校生を対象に、読み聞かせ講座を開催し、受講後、図書館でおはなし会を体験してもらう。（8月7日（火）、9日（木））

⑥ 健やか生活応援事業

項目	内容
健やか生活応援コーナー	健康・医療・介護や生きがいに関する最新の資料を充実し、幅広い世代のニーズに応える。
ミニ展示	年6回のミニ展示を行う。 2月27日～4月22日：花粉症・アレルギー 4月24日～6月24日：がん予防 6月26日～8月26日：水泳&水中歩行 8月28日～10月28日：介護食 10月30日～12月28日：講座関連テーマ1（未定） 平成31年1月4日～3月3日：講座関連テーマ2（未定） 3月5日～5月6日：中高年の生きがい
講座	大学や医療機関等と連携して健康に関する講座（年2回）などを開催する。

⑦ ビジネス情報・しごと応援事業

項目	内容
ビジネス情報・しごとコーナー	地域経済の活性化や個人の仕事を応援するため、最新の資料の充実に努める。
ミニ展示	年6回のミニ展示を行う。 4月3日～6月3日：ビジネス数字に強くなる 6月9日～8月5日：働き方の多様性を考える 8月7日～9月30日：どうする「これからの事業」など
商用データベースの提供	利用促進を図るため、操作方法の説明会を開催するほか、PR用のチラシを作成し経済団体等に配布する。

⑧ 障害者・高齢者の利便性の向上

項目	内容
資料の整備	障害のある人や高齢者が利用しやすい資料（デイジー資料や大活字本など）を整備し、貸出を行う。また、サピエ図書館サービスを利用して、活字による読書が難しい人に資料を提供する。
郵送貸出	心身に障害のある人や、病気療養中等により直接来館することが困難な人に対し、郵送により資料の貸出を行う。 <貸出冊数・期間> 図書・雑誌 10冊以内 35日間 視聴覚資料 3点以内 35日間
対面朗読	視覚障害等のため、自分で資料を読むことが困難な人に対し、ボランティアによる資料の朗読サービスを行う。
マルチメディアDAISYの作成	公益財団法人伊藤忠記念財団が平成26年度より配布しているマルチメディアDAISY図書「わいわい文庫 日本昔話の旅」に収録する香川県の昔ばなしについて、作成に協力する。 平成30年度に完成予定。

⑨ レファレンスサービス

項 目	内 容
レファレンスサービス (参考調査)	県民が資料や情報を求めるときは、図書館の資料と機能を活用して、それが得られるよう援助する。質問は、口頭のほか、電話、文書、メールでも受け付ける。 寄せられたレファレンスの中から、調査研究の参考になるような事例をホームページで紹介する。
レファレンスサービス協同データベースへの事例登録	国立国会図書館が全国の公共図書館、大学図書館、専門図書館等と協同で構築しているデータベースに、一般の方の情報探索に役立つような情報、図書館員のレファレンス業務に役立つような情報を登録する。
パスファインダーの作成	パスファインダー（テーマ別に資料や情報の探し方を案内したもの）を作成・配布する。

⑩ 職場体験・見学等の受入れ

項 目	内 容
職場体験・インターンシップ	児童生徒が図書館の業務を体験する職場体験やインターンシップの受入れを行う。 内容：館内見学、カウンター業務、資料の排列修正など
見学・視察	図書館の施設や業務内容を知っていただくため、学校などの団体を対象とした、見学・視察の受入れを行う。

⑪ 読書通帳

項 目	内 容
読書通帳の配布	子どもの読書活動の推進を目的として、読んだ本を記録するための「読書通帳」を作成し、配布する。 「読書通帳」への記入が最後まで達成した児童・生徒には、「しおり」を配布する。

(3) 図書館評価について 平成29年度 香川県立図書館の図書館評価

香川県立図書館では、運営の改善と図書館サービスの向上を図るため、図書館運営に関する評価の指標及び目標を設定し、運営状況について評価を行う「図書館評価」を実施した。

<総括>

評価指標の数値目標の達成状況は、12項目のうち、評価A(数値目標の達成率100%)が6項目、評価B(数値目標の達成率80%以上100%未満)が6項目となった。

重点目標「1. 図書館資料の整備充実」に関しては、新しくビジネス情報・しごと応援事業に関する資料を収集するなどして、「蔵書冊数」の数値目標を達成したが、郷土資料の収集については、関係機関などへの働きかけを積極的に行うなどして、更なる資料の整備充実をめぐる必要がある。

重点目標「2. 図書館サービスの充実、強化」に関しては、「入館者数」、「新規登録者数」、「個人貸出冊数」、「レファレンス件数」、「協力貸出冊数」の5項目が数値目標を達成できなかった。平成29年度は、図書館情報システムの更新等のため、28年度よりも開館日が10日間少なかったことも影響したと考えられる。利用者アンケートによる「来館者満足度」は、93%を達成した。アンケート結果を参考に更なるサービスの向上に努めたい。

重点目標「3. 読書普及活動の充実」及び「4. 文化活動の推進」に関しては、「ホームページへアクセス数」、「展示等の実施回数」、「イベント、講座、研修会等の開催回数」の全てで数値目標を大きく上回った。今後も、ホームページのコンテンツの充実や関係機関と連携・協力した展示、イベントの開催などを通して、図書館の利用拡大に努めたい。

重点目標	評価指標	数値目標	実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数(冊)	1,032,000冊	1,034,601冊	100.3%	A
	② 郷土資料受入冊数	2,500冊	2,376冊	95.0%	B
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	487,000人	448,778人	92.2%	B
	④ 新規登録者数	4,800人	4,030人	84.0%	B
	⑤ 個人貸出冊数	950,000冊	909,422冊	95.7%	B
	⑥ レファレンス件数 (クイックレファレンスを除く)	1,200件	1,039件	86.6%	B
	⑦ 協力貸出冊数	7,700冊	7,121冊	92.5%	B
	⑧ 児童団体貸出・学校支援文庫 貸出冊数	6,300冊 団体2,800冊 学校3,500冊	7,488冊 団体3,048冊 学校4,440冊	118.9%	A
	⑨ 来館者満足度	87%	93%	106.9%	A
3. 読書普及活動の充実	⑩ ホームページアクセス数 (図書館トップページ)	350,000件	420,515件	120.1%	A
	⑪ 展示等の実施回数	54回	63回	116.7%	A
4. 文化活動の推進	⑫ イベント、講座、研修会等の 開催回数	18回	21回	116.7%	A

評価A: 数値目標を達成した(達成率100%以上)

評価B: 数値目標を概ね達成した(達成率80%以上100%未満)

評価C: 数値目標を下回った(達成率80%未満)

図書館評価の状況

重点目標	評価指標	数値目標	29年度実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数	1,032,000冊	1,034,601冊	100.3%	A

<達成状況等>

○平成29年度は資料費が大幅に減少したことから、購入11,000冊としたほか、寄贈等7,000冊、巡回文庫長期貸出用図書等の廃棄11,000冊で、差し引き増加冊数7,000冊と見込んで、数値目標を1,032,000冊とした。

○資料受入冊数は、19,854冊（内訳：購入13,684冊、寄贈5,715冊、再用・その他455冊）となったが、廃棄が12,426冊となり、差し引き7,428冊増加した。

○特に、29年12月に、新たにビジネス情報・しごと応援事業を開始し、コーナーの関連資料を収集したほか、県民が生活上、仕事上役立つものや社会的に関心の高いものや、調査研究に必要な専門的な資料、課題解決のための資料を重点的に収集した。

○ダウンロード可能な障害者用デジタイズ資料の活用や健やか生活応援コーナーの「がん情報ギフト」の受け入れなど、資料の充実に努めた。

26年度実績	27年度実績	28年度実績
960,169	999,062	1,027,173

<今後の取組み>

○平成30年度の資料購入費は、29年度と同程度であるが、市町図書館を支援するための資料や県民の課題解決支援の資料、郷土資料、児童資料などを厳選して収集するほか、蔵書構成や利用状況を考慮しつつ、適切な資料の収集・保存に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	29年度実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	② 郷土資料受入冊数	2,500冊	2,376冊	95.0%	B

<達成状況等>

○平成27年度と同程度の受入冊数を数値目標とした。

○郷土資料の受入冊数の内訳は、購入640冊、寄贈1,556冊、再用・その他180冊であり、28年度と比較して245冊増加したものの、数値目標を下回った。

○県庁各課や県内市町、大学、国の機関などに行政資料等の寄贈を依頼し、郷土資料の充実に努めた。

26年度実績	27年度実績	28年度実績
2,240	2,539	2,131

<今後の取組み>

○限られた資料費のなか、引き続き関係機関などに寄贈依頼を行うなど、積極的に郷土資料の収集に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	29年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	487,000人	448,778人	92.2%	B

<達成状況等>

- 「新・せとうち田園都市創造計画」における指標（平成32年度の利用者数50万人）を目標に、毎年約1%の増加に努めることとし、平成29年度の数値目標を設定した。
- 当館ホームページに、展示や講座などの案内を掲載するとともに、県教育記者クラブに情報提供するなどして、利用者へのPRに努めたが、入館者数は27,765人の減となり、数値目標を下回ることとなった。
- 図書館情報システム更新のための休館に伴い、開館日数が28年度と比較して10日間少なくなったことや、28年11月に高松市夢みらい図書館が開館し、利用者が新しい図書館へ流出した影響があると考えられる。
- 図書館情報システム更新に伴い、ホームページを刷新するとともに、横断検索に大学図書館等を追加したほか、ビジネス情報・しごと応援事業を開始するなど、図書館サービスの向上に努めた。
- 利用者の拡大と利便性の向上を図るため、28年度に引き続き、7月から9月の金曜日のべ12日間、試行的に開館時間を通常午後7時までのところ1時間延長し、午後8時までとした。延長時間帯に一日平均28人の入館者があった。

26年度実績	27年度実績	28年度実績
478,821	426,617	476,543

<今後の取組み>

- ホームページ等を通じて、魅力ある展示や講座の開催、図書館サービスを広く周知するほか、新たな利用者を獲得するため、新規採用の教職員や県職員・大学生などへの図書館紹介や利用の働きかけや、図書館見学の促進など図書館の利用についてPRを行う。
- 県民の課題解決に役立つ資料を提供する各コーナーの資料の充実を図るとともに、閲覧室の配置の見直しをするなどして、図書館の魅力を高める。
- 利用者の利便性の向上のため、7月から9月の金曜日のべ13日間、開館時間の延長を平成30年度も実施する。

重点目標	評価指標	数値目標	29年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	④ 新規登録者数	4,800人	4,030人	84.0%	B

<達成状況等>

- 平成29年度は、28年度の数値目標（4,800人）と同じ数値目標としたが、大きく下回り、達成することができなかった。
- 29年度の新規登録者年代別内訳は、0～12歳 1,114人、13～18歳 189人、19～39歳1,549人、40～59歳 797人、60歳以上 381人である。28年度と比べると、どの年代も10%前後の減となっている。
- 新規登録者の増加を図るため、新たに新規採用教員の研修の場や香川県行政情報ネットワークを通じ、県立図書館の利用を働きかけた。県内の大学・高等専門学校に対しても利用促進のチラシを配布して利用を働きかけた。

26年度実績	27年度実績	28年度実績
4,713	4,624	4,606

<今後の取組み>

- 新規登録者を増やすため、平成29年度に引き続き、新規採用の教職員や県職員などへの利用者登録を働きかける。
- 遠隔地の利用者には、郵送での利用者貸出カードの申請ができることを、PRするため、ホームページでの掲載のほか、市町立図書館の窓口での周知依頼をする。

重点目標	評価指標	数値目標	29年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑤ 個人貸出冊数	950,000冊	909,422冊	95.7%	B

<達成状況等>

- 平成28年度の実績見込み(940,000冊)から、1%程度の増加を数値目標としたが、下回ることとなった。
- 内訳は、一般書が464,551冊、児童書が372,365冊で、28年度と比較して、一般書が6,756冊(1.4%)の減、児童書が31,139冊(7.7%)の減となり、特に児童書が大きく減少した。
- 29年度は図書館情報システム更新のための休館があり、開館日数が28年度と比べて10日間少なかったことや高松市夢みらい図書館の開館が影響したと考えられる。また、29年度は資料費が大幅に減少し、新刊本の購入冊数が減少したことも影響したと考えられる。
- ビジネス情報・しごと応援コーナーを新たに設置したほか、閲覧室の資料の配置変更や、書庫に所蔵している資料の紹介をするなど、利用者の目に触れるよう努めた。

- ・雑誌の配架の見直しを実施し、書庫内の雑誌のバックナンバーを紹介する「なつかしのバックナンバー」を設置
- ・子育て支援コーナーと健やか生活応援コーナーに、関連書の一般書架への案内板を作成
- ・児童資料コーナーに「おすすめむかしばなし」コーナーを設置
- ・寄贈資料の紹介
- ・子育て支援コーナーの書架を増設

26年度実績	27年度実績	28年度実績
893,122	864,099	948,870

<今後の取組み>

- 平成30年度も新刊本の購入冊数の増が見込めないことから、新刊本以外の資料や書庫に所蔵している資料を紹介・貸出するなどして利用促進につなげたい。

重点目標	評価指標	数値目標	29年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑥ レファレンス件数(クイックレファレンスを除く)	1,200件	1,039件	86.6%	B

<達成状況等>

- 平成27年度の実績から、50件程度の増加を数値目標としたが、下回ることとなった。
- 内訳は、来館しての口頭での質問が665件、電話での質問が249件、文書での質問が32件、メールでの質問が93件で、口頭での質問が28件、メールでの質問は5件増えたが、電話での質問が10件減少した。インターネットやスマートフォンの普及により、来館しなくても図書館の蔵書が検索できることや、利用者自身でweb上の情報を入手できることが原因と考えられる。
- 29年度は図書館情報システム更新のための休館があり、開館日数が28年度と比べて10日間少なくなったことも影響したと考えられる。

26年度実績	27年度実績	28年度実績
1,222	1,156	1,028

<今後の取組み>

- レファレンスサービスに不可欠な参考資料や基本図書の充実に努めるとともに、商用データベースの活用を促すなど、課題解決支援に役立つ情報を提供し、質の高いレファレンスサービスの提供に努める。
- レファレンス事例を国立国会図書館のレファレンス共同データベースに登録することにより、検索したり、利用者が容易に活用できるようにするなどして、県民への調査・研究への一層の支援を図る。
- 郷土に關係するパスファインダーの作成などにより、レファレンスサービスについての広報に努める。
- 夏季休業期間中に、児童資料コーナーやYoung Generationコーナーに加えて、子どものための郷土資料を別置き、自由研究など子どもたちの調べものに役立ててもらう。

重点目標	評価指標	数値目標	29年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑦ 協力貸出冊数	7,700冊	7,121冊	92.5%	B

<達成状況等>

- 平成28年度の実績と同程度を数値目標としたが、下回ることとなった。
- 内訳は、市町立図書館への貸出冊数が7,119冊、市町立図書館未設置町（直島町、琴平町）の公民館等への貸出冊数が2冊である。
- 29年度は図書館情報システム更新のための休館があり、開館日数が28年度と比べて10日間少なくなったこと、また、市町立図書館2館の長期の休館により、協力貸出の受付業務も停止となったことが、影響したと考えられる。
- また、29年度は資料費が大幅に減少し、新刊本の購入冊数が減少したことも影響したと考えられる。
- 市町立図書館と実務担当者会を年2回開催し、情報交換などを行うとともに、県立図書館ホームページに各館の情報を掲載するなど、市町立図書館との連携に努めた。

26年度実績	27年度実績	28年度実績
6,716	6,818	7,694

<今後の取組み>

- 市町立図書館においても資料費予算の確保が厳しいことから、市町立図書館を支援するために必要な資料の収集に努め、市町立図書館等への支援を図る。
- 協力貸出の資料を搬送するための運送費が高騰しているが、来館が困難な遠隔地の利用者へのサービスの維持・継続に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	29年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑧ 児童団体貸出・学校支援文庫貸出冊数	6,300冊 団体2,800冊 学校3,500冊	7,488冊 団体3,048冊 学校4,440冊	118.9%	A

<達成状況等>

- 児童団体貸出については、平成28年度実績の100冊程度、学校支援文庫は、400冊（10セット）の増加を数値目標とした。
- 児童団体貸出冊数は、平成28年度より10%の増、学校支援文庫は43%の増となった。
- 学校支援文庫については、ホームページの「子どもの読書応援ページ」への掲載のほか、県行政情報提供ネットワーク掲示板への掲載、香川県小学校教育研究会学校図書館部会夏季研修会、県教育センターでの新任司書教諭研修会、学校司書研修会、小・中学校校長会などでの周知、「香川の教育づくり」にブース出展を行った。
- また、県教育センターでの初任者研修での周知、特別支援学校への周知、教育事務所長会、東部教育事務所管内教育長会、西部教育事務所管内小中教頭会での説明、「県教委だより」に掲載するなどし、学校支援文庫の認知度が上がったと考えられる。
- 平成29年10月から、小学校版に加えて、新たに中学校版のセットを整備し、貸出を開始した。

26年度実績	27年度実績	28年度実績
4,327冊 団体3,487冊 学校 840冊	4,788冊 団体2,588冊 学校2,200冊	5,875冊 団体2,776冊 学校3,099冊

<今後の取組み>

- 学校支援文庫は最寄りの市町立図書館等で受取、返却ができるので、より一層の利用につながるようPRするとともに、必要な本を自分で選ぶことができる団体貸出のPRにも努める。
- 小学校版は、利用する学校が固定化し、またセットにより利用頻度に差があるため、利用頻度の低いセットの利用促進に努める。
- 平成30年度も引き続き、中学校版の整備を進めるが、29年度は3校120冊（3セット）の利用であったことから、セットのテーマの工夫や広報などにより利用増を図る。

重点目標	評価指標	数値目標	29年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑨ 来館者満足度	87%	93%	106.9%	A

<達成状況等>

○平成28年度のアンケート調査結果の1%増を数値目標としたが、大きく上回ることとなった。

○30年1月30日(火)～2月4日(日)の6日間、来館者を対象に「図書館利用に関するアンケート」調査を実施した。512人(男性275人(54%)、女性234人(46%)、無回答3人(0%))の回答のうち、当館のサービスの満足度についての質問に対して、満足228人(45%)、やや満足245人(48%)との回答を得た。

○29年12月に図書館情報システムの更新を行い、ホームページを刷新、新たな機能(返却期限通知メール設定、Myライブラリなど)を追加した。また、新たに「ビジネス情報・しごと応援事業」を開始し、ビジネス情報やしごと応援のための図書・雑誌の提供やパンフレット・チラシの配布をするなど、県民の課題解決を支える機能の充実を図った。あわせて商用データベースを増設し、プリントアウト(有料)も可能となった。

○児童資料コーナーの利用者用端末を増設するなど、利便性の向上を図った。

28年度実績
86%

<今後の取組み>

○アンケート調査で今後取り組んでほしいこととして、「図書や雑誌の充実、行事・講座等の充実、施設・設備の充実」「地域資料の収集・保存・提供」などが挙げられた。これらの意見等を参考にしたり、課題解決支援の資料を充実するなど、より一層満足度が上がるよう、サービスの充実、強化に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	29年度実績	達成率	評価
3. 読書普及活動の充実	⑩ ホームページアクセス数(図書館トップページ)	350,000件	420,515件	120.1%	A

<達成状況等>

○平成28年度実績見込み(337,000件)より2万件の増加を数値目標とした。

○29年度は、28年度実績を66,529件と大きく上回った。内訳は、当館ホームページのトップページへのwebアクセス数388,796件、携帯・スマホからのアクセス数13,207件、市町立図書館からのアクセス数18,512件となっている。図書館情報システム更新に伴い、ホームページを停止していた11月を除き、更新前の4～10月は34,891件/月、更新後の12～3月は39,672件/月と、14%程度アクセス数が増加し、年間では数値目標を大きく上回ることとなった。

○ホームページで、蔵書検索のほか、貸出中の資料の予約(インターネットによる予約件数33,408件)や新着図書の案内、講座・展示の案内、ブックリストなど、図書館サービスと連動した情報提供を積極的に発信した。また、新たに、スマートフォン専用のサイトもでき、利便性があがったことがアクセス数増加の要因と考えられる。

○横断検索に県内大学図書館(4館)を新たに追加した。

26年度実績	27年度実績	28年度実績
243,148	271,782	353,986

<今後の取組み>

○平成30年度も、企画展示やイベントなどの情報を積極的に発信するほか、ブックリストなど、ホームページのコンテンツの充実に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	29年度実績	達成率	評価
3. 読書普及活動の充実	⑪ 展示等の実施回数	54回	63回	116.7%	A

<達成状況等>

○平成28年度の実績回数を数値目標としたが、大きく上回ることとなった。

○展示コーナーでの企画展示に加えて、各コーナーで、時宜に合ったテーマの展示を開催したり、行事の内容に沿った本を展示するなどした。雑誌のバックナンバーを紹介する「なつかしのバックナンバー」やビジネス情報・しごと応援コーナーの設置に伴い、コーナーでのミニ展示を新たに始めた。

- ・展示コーナー企画展示11回
- ・イベント関連本展示11回
- ・子育て支援コーナー企画展示4回
- ・健やか生活応援コーナーミニ展示6回
- ・ビジネス情報・しごと応援コーナーミニ展示2回
- ・Young Generation コーナーミニ展示など11回
- ・児童資料コーナー「今月の本」など13回
- ・雑誌コーナー「なつかしのバックナンバー」5回

26年度実績	27年度実績	28年度実績
35回	35回	54回

<今後の取組み>

○今後とも、時宜にあったテーマや、利用者の興味・関心を引くような内容を考慮し、また、関係各機関と連携・協力して、様々な展示を企画・実施するよう努める。

重点目標	評価指標	数値目標	29年度実績	達成率	評価
4. 文化活動の推進	⑫ イベント、講座、研修会等の開催回数	18回	21回	116.7%	A

<達成状況等>

○平成29年度は、28年度と同程度の回数を数値目標としたが、大きく上回ることとなった。

○通常のイベントに加え、図書館情報システム更新に伴う休館中に、当館2階研修室において、秋のおはなし会スペシャルやわくわくかみしばい会を実施した。

- ・イベント13回
子ども読書まつり3回、他機関との連携による行事2回、食育イベント1回、図書館コンサート2回、高校生によるブックハンティング1回、図書館探検2回、休館中のお話し会など2回
- ・講座3回
子どもの本と読書の講座1回、健やか生活応援講座2回
- ・研修5回
図書館職員研修会（初任者研修1回、専門研修1回）
香川県図書館大会 1回
実務担当者会 2回

26年度実績	27年度実績	28年度実績
17回	13回	19回

<今後の取組み>

○子どもから大人までいろいろな利用者が多数参加でき、課題解決に役立ったり、図書館への理解が深まるようなイベントや講座を企画・実施する。また、他機関とも連携して多様なイベント等を利用者に提供するよう努めたい。

○市町立図書館職員も参加し、専門的な知識、技術を習得できるような研修を引き続き実施し、職員の資質向上に努めたい。

(4) その他

1) 利用者からの意見、要望等の状況について

(平成30年4月1日～6月30日)

区 分	件 数	備 考
意見箱	9	
来館	2	
電話	3	
図書館メール	4	図書館ホームページ「おたより」
知事への手紙・メール	1	県ホームページ「知事へのメール」
県メール	0	県ホームページ「ご意見・お問い合わせ」
合 計	19	

【分類別件数】

① 資料購入希望等	7
② 館内・館外サービス	6
③ 市町図書館関連	2
④ 施設関係	3
⑤ 館の運営	1
⑥ その他	0

ホーム > 県民の声一覧 > ご提言等の内容

ご提言等の内容

公開日:2018年5月18日

受付年月日

2018年5月8日

回答年月日

2018年5月18日

テーマ

香川県立図書館の指定管理化について

提言内容

香川県立図書館は、一刻も早く指定管理にすべきです。

あの無駄な広さの玄関ホール、この時代に少なすぎる洋書(友人の外国人もがっかりしておりました)、CDも古く傷だらけで数が少ない、パソコン関係のコーナーも今は使われていないようなバージョンの本ばかり並んでいて実用性がない(要は全体的に古い)、カウンター職員もやる気があるのかなのかといった対応...知事は個人的に利用されたことがありますか。

あのよう収益性のない施設には、県民の税金をより効率的に使用することを留意すべきです。以前の知事へのメールで、残業ばかりする職員を批判するようなものがあつたが、県では職員数を減らされているような話はよく聞出し、少人数で同じ仕事をするためにどうしても必要なら、残業もやむをえないでしょう。それより、どう見てもサービスの質が悪い施設に血税を費やす方が、よっぽど非効率的です。

隣の岡山県では、民間に委託して成功している公立図書館の例も聞きます。県民にとって何が一番よいのかを考え、決断する時が来ておると思いますが、いかがでしょうか。

回答内容

お手紙を拝見しました。

県立図書館では、厳しい財政状況の中ではありますが、市町立図書館を支援するために必要な資料や、県民が課題解決のために必要としている資料、郷土資料、児童向けの資料などを重点的に購入しています。

ご指摘いただきました洋書については、基本的な参考図書、受賞作及び話題のベストセラーなどを中心に開架しており、CDについては、クラシック音楽や落語などを開架していますが、経費の有効利用の観点から、厳選して購入していますので、ご理解をお願いいたします。

なお、パソコン関係の資料については、技術の進歩が速い分野であることから、最新の情報を掲載した資料の収集に留意していますが、古いバージョンのソフトなどを使用している利用者からは、それに対応した資料を求める声もあることから、古い資料も開架しています。

また、指定管理などの民間のノウハウ活用については、岡山県の高梁市図書館や玉野市立図書館などの例もありますが、県立図書館においても、平成19年度からカウンター業務などについて外部委託を実施し、民間のノウハウを生かした運営に努めています。

いただきましたご提言も参考に、今後も引き続き、資料の充実やサービス向上に努めてまいります。

担当課

生涯学習・文化財課 電話:087-832-3770

